

平成30年度 徳島県ふるさと・水と土保全対策懇話会 会議録

- 1 日 時 平成31年2月28日(木) 午後1時30分から午後3時まで
- 2 場 所 徳島グランヴィリオホテル 1階ヴィリオルーム
- 3 出席者
【委員】坂口委員, 田中委員, 西崎委員, 山部委員, 上家委員, 井筒委員
(欠席: 川瀬委員)
【県】 農山漁村振興課長, 農村環境担当2名
- 4 懇話会次第
 - 1) あいさつ
 - 2) 自己紹介
 - 3) 協議内容
 - ① ふるさと水と土保全対策及び棚田地域等保全対策の概要について
 - ② 平成30年度の事業経過について
 - ③ 平成31年度の事業計画について
 - ④ 意見交換
 - ⑤ その他
- 5 会議録(事務局説明の後, 坂口委員の進行による意見交換の内容を記録)

委員「私の地元, 上勝町八重地の方でのボランティアありがとうございます。」

委員「今年行った半田地区でサルが集落内協働捕獲の試験は次年度継続するのか。」

県 「昨年までは試験で, 今年は推進という形で続けていまして, 来年度も鳥獣害対策は続けて行きます。」

委員「中山間地域ではサルが問題になっている。モンキードッグへの補助は, 今後も基金で継続すべきと考えるがどうですか。」

県 「ふる水基金で, 継続して犬の訓練費用を補助します。」

委員「今もありましたように皆さん, 鳥獣被害に苦しんでいるようで, 県の事業としてはふる水基金が活用されているということで理解しましたが, 700万という予算で要望に対しては十分でしょうか。場合によっては増額検討すべきではありませんか。」

県 「昨年度の決算の額を見ていると、今のところは予算内で地域の要望に対応できている。ただ必要があれば増額も考えたい。」

委員 「ふる水の指導員さんの育成が目的となっていますが、順当に増えてきているんですか。」

県 「指導員は順当に増えています。なるべく息の長い活動をしていただきたいので、なるべく若い人を推薦していただけるよう市町村等をお願いをしています。」

委員 「8ページの上のアの環境調査事業は調査によって希少な植物があった場合、具体的にはどのようにしているのですか。」

県 「例えばこの調査事業の中で希少な植物があったとします。その保全について、博物館等の有識者のところに行きまして、どうしたらいいか相談させていただきます。その意見を踏まえ、現実的、実現可能な範囲で保全という対応をさせていただきます。」

委員 「私の町では耕作放棄地対策が来年度からなくなる。国に、その代わりになるような補助事業があるのかと聞いたら、おそらくないと思います、との回答でした。荒れている土地について再度再生をするという時に、何か出来る事業があればいいと思います。」

県 「先ほどの交付金の作業の話は今の既存でもできる部分はあるが、特化したものはないところですので、新たな事業を考えていきます。」